

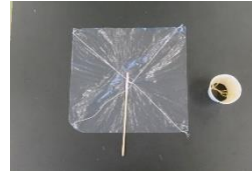
パラシュートを飛ばそう

立山町立雄山中学校 科学部

19

● どんな工作・実験なの？

パラシュートは、傘のような形状で空気の力を受けて速度を制御するもので、パラシュートを工作し、パラシュートの傘がどうなると落ちる速さがおそくなるのかを調べよう。



● 用意するもの

- ・紙コップ 1個 ・割りばし 半分 1本 ・ポリ袋 1つ
- ・輪ゴム4つ ・ストロー 1つ ・セロハンテープ 1つ ・タコ糸

● 工作・実験のしかたとコツ

～パラシュートの作り方～

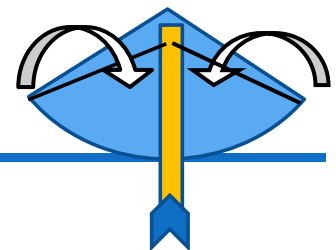
- ① ポリ袋を縦 30cm,横 30cm に切る。
- ② ポリ袋の四つ角にセロハンテープをはり、穴をあける。
- ③ タコ糸を 25～30cm ほどの長さで 4 本に切る。→②の四つ角にタコ糸を 1 本ずつ通しポリ袋の角に結ぶ。
- ④ 結んだ 4 本の糸をポリ袋の対角線に糸がはるようになるようにポリ袋の中央に結び目を作る。これで、パラシュートのかさの部分が完成。
- ⑤ 直線部分のストローを 5cm に切る。重りとなる割りばしをストローに差し込む。
- ⑥ 差し込んだストローに 1cm ほどの切り込みを入れ、④で結んだ部分を割りばしにセロハンテープでつける。

～発射台の作り方～

- ① 2つの輪ゴムを1つに結ぶ。紙コップの底を切り取る。
- ② 紙コップの上の方に切り込みを4つ作る。切り込みに輪ゴムを十字になるように入れる。

● パラシュートの飛ばし方とコツ

- ① パラシュートの傘をたたみ、割りばし部分をパラシュートの傘に巻きつける。
- ② ストローの切れ込み部分を発射台の輪ゴムにひっかけ引っ張る。
- ③ 輪ゴムをはなし、発射。



● 気をつけよう

・人に向けて飛ばさないようにしよう。

● もっとくわしく知るために

パラシュートを発射台で飛ばす方向やパラシュートの傘を発射台に入れ方を工夫してみよう。

タコ糸の長さや傘の大きさを変えてみよう。